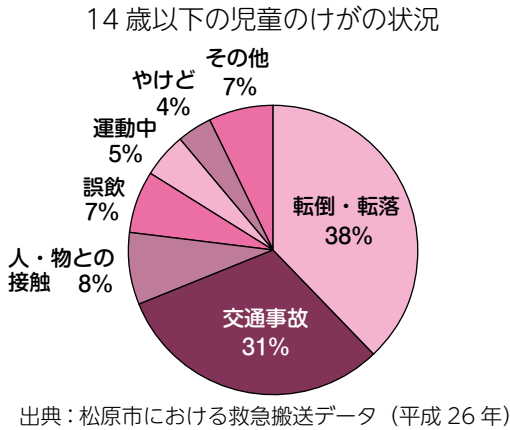


また、小学生では学校でのけがが特に多いことがわかってきました。



子どものけがは、転倒・転落による場合が最も多く、けが全体の4割近くを占めています。

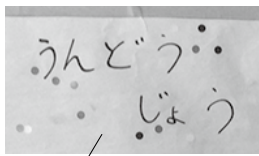
けがを防ぐ

安心・安全な学校づくりを目指して



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

▼問合せ 教育推進課 市民協働課



▲校内安全マップ

そこで学校では、校内安全マップを作成し、子どもたちの安全への意識を高める取り組みをすすめています。児童会の保健委員の子どもたちを中心に、けがをした場所にシールをはり、けがが多い場所を見つけ、どうしたらけがを防ぐことができるか、子どもたち自身で対策を考え、取り組んでいくことを大切にしています。

他にも、雨の日の休み時間には安全を呼びかける放送を流したり、運動場で遊ぶ時のルールを徹底したりすることで、学校でのけがの減少に効果をあげています。

大阪の公立学校初！
インターナショナル
セーフスクール

国際認証を目指して

平成27年度より、WHOが推奨する「インターナショナルセーフスクール」の国際認証を目指すことになりました。セーフスクールとは、体および心のけがや、その原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進める活動です。

市では、布忍小学校、中央小学校、松原第三中学校が、大阪の公立学校では初めてとなるセーフスクールの認証を目指し、取り組みを進めています。

9月5日のセーフコミュニティ中間報告会では、3校の児童生徒の代表が、いじめを許さない決意を込めた「信じ合えるなまづくり共同宣言」を読み上げ、市長に手渡しました。

今後は、安心・安全な学校づくりを目指して、児童生徒が中心となり、継続した活動を行っていきます。



▲9月に行われたSC報告会の様子

子どもたちと話し合ってみてください

家庭でも、子どもと学校の安全な過ごし方について話し合ってみてください。

「廊下を走ったり階段でふざけたらしたら、どんなことが起きる?」「ひとりぼっちの子がいたら、自分ならどうする?」

話し合うことで、子ども自身の学校での様子も知ることが出来ます。よりよい心と体の安全を、子どもたちと一緒に考えていきましょう。